

南富良野消防総合演習 日頃の成果を遺憾なく発揮！

平成26年度富良野広域連合南富良野消防総合演習が7月6日、消防職員と消防団員、特別参加の陸上自衛隊上富良野駐屯地第4特科群第131特科大隊の隊員など合わせて約100名が参加して、南富良野高等学校グラウンドを会場に行われました。

開会式に引き続き、小隊訓練が第1・第2分団、第3・第4分団の合同により行われ、指揮者の号令により足並みの揃った行進が披露されたほか、陸上自衛隊露されたほか、陸上自衛隊

上富良野駐屯地第4特科群第131特科大隊による展示訓練では、大型台風の上陸による集中豪雨の影響により町内の各河川が氾濫し、各所で発生した土砂崩れにより幾寅地区が孤立したことを想定して行われ、消防団員や多くの町民が見守る中、偵察班・機動班・衛生班により土砂災害に巻き込まれた住宅から探索機やエンジンカッターなどを駆使し、生存者をすばやく救助していました。

また、各分団による消防操法応用訓練や模擬火災訓練が行われ、日頃の訓練の成果を披露しました。



消防操法応用訓練

前段にこども消防隊体験イベントも開催され約30人の園児、児童がミニ消防車乗車体験や消火器体験をしました。閉会式での、富良野広域連合原一志消防長の講評では規律正しい消防技術と団体行動の迅速適正を図り消防人としての資質の向上と士気の高揚を今後も図って頂きたいと話されました。また第131特科大隊による一度に50名分の主食と副食を同時に45分以内で調理できる野外炊具により、来場した町民や団員、関係者にカレーライスが振舞されました。

先の大戦から69年目を迎え、戦没者一〇三柱の靈を慰めるため、町社会福祉協議会主催による「戦没者追悼式」が7月7日、来賓や遺族の方々71名が参列する中、忠魂碑前でおごそかに執り行われました。午前10時、参列者全員で黙祷を捧げたあと、岩永廣一郎会長が「あの悲しい歴史を二度と繰り返すことがないよう我が國の恒久平和を誓います」と式辞を述べ、来賓からの追悼の言葉に統いて、参列者が一人ずつ白菊を供え、尊い犠牲者の冥福を祈りました。

なお、追悼式の挙行にあたり、次の方々からご厚志や供物が寄せられました。紙上をもつて厚くお礼申し上げます。

悼の言葉に統いて、参列者が一人ずつ白菊を供え、尊い犠牲者の冥福を祈りました。

我國の恒久平和を誓います」と式辞を述べ、来賓からの追

南富良野町戦没者追悼式 一〇三柱の英靈の冥福を祈る

先の大戦から69年目を迎え、戦没者一〇三柱の靈を慰めるため、町社会福祉協議会主催による「戦没者追悼式」が7月7日、来賓や遺族の方々71名が参列する中、忠魂碑前でおごそかに執り行われました。

午前10時、参列者全員で黙

祷を捧げたあと、岩永廣一郎

会長が「あの悲しい歴史を二

度と繰り返すことがないよう

我が國の恒久平和を誓います

と式辞を述べ、来賓からの追

悼の言葉に統いて、参列者が

一人ずつ白菊を供え、尊い犠

牲者の冥福を祈りました。

我國の恒久平和を誓います

と式辞を述べ、来賓からの追

悼の言葉に統いて、参列者が

一人ずつ白菊を供え、尊い犠